

① 安全の基本方針

輸送の安全の確保は全てにおいて最優先します。
関係法令・規則を遵守し、安全安心を第一に職務を遂行します。
運行の安全に対する姿勢を正し、安全管理体制の継続的な改善を続けます。

② 安全目標 【 令和 5 年度 】

有責人身事故0件、有責車両事故0件
健康起因による事故0件
思いやりのある運転のできるプロ乗務員の育成

③ 前年度 【 令和 4 年度 】 の目標達成状況

有責人身事故0件、有責車両事故0件含め、事故は0件達成
健康起因による事故0件達成
配車遅れ0件

④ 事故に関する統計情報

全ての事故0件

⑤ 昨年度は輸送の安全のためにこんなことをしました。 【 令和 4 年度 】

運行管理者試験を合格し1名増やしたが、退職により年度末には未達成に終わった。
休車等することなく、定期点検を確実に行った。

⑥ 今年度は輸送の安全のためにこんなことをします。 【 令和 5 年度 】

乗務員の高齢化を防止する為に、若い乗務員を雇用・育成します。
低年式車両1台を、高年式車両に入れ替えます。
運行管理者を1名増やします。

⑦ 教育と研修について

【 令和 5 年度 】

乗務員、各管理者のスキルアップのために、当社で年間計画に沿った教育を行っております。

2023年4月	日常点検の重要性	危険予測の方法	改善基準告示
2023年5月	事業用自動車の構造上の特性	経路調査の重要性	肥満・メタボリック症候群の改善
2023年6月	ヒヤリハット体験の活用	シミュレーショントレーニング	過労運転の危険性
2023年7月	公共性と社会的使命	適性検査の受診と結果の活用	救命救急措置
2023年8月	乗車中の乗客の安全確保	映像を利用した教育①	ゲリラ豪雨への対応
2023年9月	性能特徴事業用自動車の理解	生活習慣の改善による病気予防	非常口や消化器の取り扱い
2023年10月	関係法令の遵守	アルコールと薬物の影響	労働法
2023年11月	点呼の重要性と乗務記録の作成	乗降時の旅客の安全確保	事業用自動車の安全装置最前線
2023年12月	危険予測のケーススタディ	ストレスに対する対処	異常気象時の対処
2024年1月	事故の特徴と社会的影響	事故がおこった場合の対応方法	メンタル面の健康を保つ
2024年2月	高齢者・障がい者の安全確保	錯覚・思い込み・急ぎの危険性	映像を利用した教育②
2024年3月	2023年度の総復習	不足分の補習	

運行管理者講習 一般講習	(2023年9月に受講予定)
2023年5月予定	運輸安全マネジメントの活用方法

無し

⑧ 定期監査とマネジメントレビューについて

【 令和 4 年度 】

内部監査は、11月に行いました。

内部監査員は経営トップから必要な権限を与えられ、各部門を公正な立場で監査しました。

監査の結果については、本社営業所でご覧になることができます。

日常点検がマンネリ化している。

マネジメントレビューは、12月に行いました。

マネジメントレビューには、経営トップ、安全統括管理者、各管理者及び乗務員の代表が参加し、本年度の安全目標、そのための具体的施策について話し合いました。

日常点検に整備士等外部講師を招く。

以上、当社の運輸安全マネジメントの取り組みについてご報告いたしました。

令和 5 年 3 月 31 日

有限会社西濃ラインホリ

代表取締役 堀 陽介